

ファーストステップガイド
2020 CBR1000RR-R(SC82)
2021 CBR600RR(PC40)
2020 CBR250RR(K64)
レースベース車用

・車両への取り付け

- ・ロガーから出ている黒6Pコネクタを車両メーター裏のロガーケーブルに接続する
- ・GPS とロガーユニットを接続する

※GPS アンテナはなるべく周りに電波を遮るものが無く上空が広く見渡せる状況に取り付けてください



車両接続端子



GPS 接続端子



LAP 入力端子 (OP 用)



CAN2(Ext)端子 (OP 用)

・PC ソフトウェアの準備

ソフトのダウンロード先

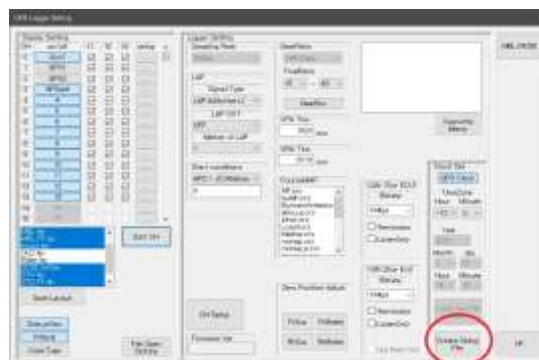
<http://mbda.chakin.com/mbda2.html>

上記アドレスにアクセスし、解析ソフトをダウンロードしてください。

- ・ダウンロードしたファイルを C:¥ドライブ等へ移動し、解凍する。(すべて展開する)
(Windows10 での操作例)
- ・ダウンロードしたファイルをクリックし、“圧縮フォルダツール→すべて展開”
- ・開かれたフォルダの中にある“MBDA2.EXE”アプリケーションを右クリックし
“スタートメニューにピン止めをする”を選択

以上の操作で、スタートメニューから起動できるようになります。

- ・アプリケーションを起動し、MBDA フォルダ内にある“SETUP_XXXXXX.MBL”ファイルを開く。
(XXXXXX は使用する機種名)
- ・設定ボタンを押し、[Create Setup File]ボタンを押し、空のメモリーカードに保存する。
(保存するファイル名はデフォルトの“SETUP.MBL” から変えないでください)



・GPS の受信に関して

- ・前回走行時から数日間以上経過していたり、違うサーキットへ移動した場合は初回の GPS 補足に時間がかかります。(数十秒～数分程度。GPS 衛星の電波状況に依存します)
- ・GPS の中継ユニットの緑インジケータが点滅するまで、上空の見通しの良い場所で電源を入れたままにしてください。(通常屋外であれば、エンジンの暖気運転中に補足できるはずです)
- ・一度 GPS が補足できている状態で当日中同じサーキットであれば、次回走行時は数秒で補足が完了します
- ・GPS が正しく受信された後は、ロガーに時刻設定がされ、以降の記録ファイル名が
“01020304.MBD” (1 月 2 日 3 時 4 分) のように日時になります

・走行前設定

- ・セットアップファイルの保存されているメモリーカードをロガーに入れ、車両の電源を入れる。
- ・ロガー本体のインジケータが緑に点灯することを確認し、スロットルを全開にする。
- ・ロガー本体のインジケータが緑に点滅していれば記録が開始されているので、前後のサスを全伸ばしする (サスストロークセンサー使用の場合)
- ・車両の電源を切り、メモリーカードを PC に入れる。
- ・MBDA2 を起動し、File1 を開くボタンを押す。
- ・メモリーカード内にある先ほど記録された “01010001.MBD” 等の名前のログファイルを開く
- ・設定ボタンを押す
- ・開いたウインドウ内の “ZeroPositionAdjust” 内でゼロ点調整する CH ボタンを押す
(Fr サス、Rr サス、Fr ブレーキ圧、Rr ブレーキ圧のゼロ点が設定できます)
- ・走行するコースを “CourseMAP” 内から選択する
(この選択でコントロールラインが設定され、GPS での LAP 計測が可能になります)
- ・“CreateSetupFile” を押し、設定ファイルをメモリーカードに保存する
(ファイル名 “SETUP.MBL” に上書きする)



以上でメモリーカード内に設定が保存されるので、このメモリーカードをロガーに入れて走行すれば、走行データの記録がされます。

(デフォルトの設定では、アクセルポジションセンサーが約 10 度以上で記録開始されます)

また、GPS による LAP 計測もされ、車両のメーター内にラップタイムが表示されます。